

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

居宅介護支援事業所

姫路・勝原ホーム居宅介護支援事業所

令和6年度 事業計画

目 標	住み慣れた自宅や環境での生活が継続できるように生活意欲が高まる居宅介護支援を柱に制度改正など最新情報を確認しながらケアプランの作成や相談支援を図る。
理 由	感染症や災害などBCPの義務化もあり、どのような形でも業務が継続できるような事業所を目指したいため。 令和6年4月介護報酬改定から事業所間だけでなく、利用者と介護支援専門員のモニタリングにテレビ電話の活用が認められ、対面でなくても互いに情報共有ができるなど社会情勢を踏まえた新しい事にも取り組んでいく姿勢を保ちたいため。 また、ブロック研修や外部研修、施設内覧会など知識や情報を得る機会を作り、引き続き事業所内の定期会議で情報の共有を図りたいため。 あわせて、相談しやすい雰囲気大切にするとともに事業所内で困難事例を共有し、意見交換を積極的に行い、利用者や家族に寄り添ったケアマネジメントを行っていききたいため。
具体的対応策	1. 研修内容と困難事例に関する情報共有など、意見交換の機会を持つことで、対応能力の向上を図る。 2. 円滑なケアマネジメント業務を行うため、定期会議にて、対人支援に関する支援と技術を話し合い、スキルを高める。 3. 月例会議にて、接遇やリスクマネジメントに関する研修も行い、事業所としての底上げを図る。 4. 苦情や事故が生じた時には、事業所内で情報を共有するとともに今後の対策も話し合い、改善に努める。

令和6年度 事業報告

事業報告	地域包括支援センターと連携して実施している合同研修の中で、虐待対応研修やハラスメントに関する勉強会を行い、知識を高めた。また、各居宅サービス事業所のコロナ関連の最新情報の収集を行った。収集した情報を参考に感染症予防BCPマニュアル及び対策に取り組んでいる。引き続き災害対策（火災日中、火災夜間、水害、地震）など併設事業所が行う訓練に参加している。 引き続き毎週火曜日に開催している定期会議にて、情報収集した地域にある社会資源やインフォーマルサポートなどについて意見交換し、情報共有と共通認識を図っている。あわせて、共通認識した情報は、利用者や家族に提案するなど居宅介護サービス計画書に反映している。 インフォーマルサポートを位置づけた居宅介護サービス計画書については、適切なケアマネジメントツールを用いて、確認するための事例検討会を適時開催している。出席者同士で話し合い、内容に関する意見交換していることで、互いに知識を高めており、利用者本位のケアマネジメントが展開しやすい体制につながっている。
事業運営総括	病院や地域包括支援センター、元利用者家族、居宅サービス事業所や廃業する居宅介護支援事業所からの紹介があり、新規契約につながっているが、そのまま施設入居や入院するなど実績につながらないケースもあったものの、5年度より10件増加している。 毎週火曜日の定期会議にて、継続的に事例検討会を行っていることでケアマネジメント力は向上している。また、会議の中で新規や困難事例にとどまらず、利用者や家族との関係性を含め、ケアマネジメントのあり方に関する内容を話し合い、互いに理解を深めていることで、情報共有と共通認識は毎日の日課になっている。 緊急事態時などにも事業を継続し、利用者に対応していくため、事業所内での協力体制を整備し、7年度も引き続き緊急時対応マニュアルの見直しを行っていきたい。

要介護度の状況 《平均要介護度 1.72》

令和7年3月31日 現在

	人 数	割 合
要支援 1	16	9%
要支援 2	21	12%
事業対象者	0	0%
予 防 計	37	21%
要介護 1	66	38%
要介護 2	32	19%
要介護 3	18	11%
要介護 4	15	9%
要介護 5	4	2%
介護 計	135	79%
合 計	172	100%

新規契約者数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	5	2	5	6	3	7	6	10	9	4	4	5	66

利用者数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1・2	25	40	31	34	38	38	40	42	39	34	31	37	429
プラン数	126	133	130	135	130	129	131	132	143	134	136	137	1,596
合 計	151	173	161	169	168	167	171	174	182	168	167	174	2,025

要介護認定調査数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居 宅	0	2	3	2	3	2	2	2	5	4	3	3	31
特 養	1	1	2	4	2	0	0	0	2	2	0	0	14
合 計	1	3	5	6	5	2	2	2	7	6	3	3	45

職員の外部研修の受講状況 (令和6年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
第1回網干ブロック研修	介護予防支援の考え方について	介護支援専門員	2名	6月14日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第1回ケアマネジメント力向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、地域課題の抽出について（事例検討）	介護支援専門員	2名	6月27日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第2回ケアマネジメント力向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、地域課題の抽出について（事例検討）	介護支援専門員	1名	8月22日	1日間	姫路市総合福祉会館	口頭・復命
兵庫県介護支援専門員協会研修会	ケアプランデータ連携システム導入について	介護支援専門員	1名	8月31日	1日間	姫路市民センター	口頭・復命
第2回網干ブロック研修	口腔のフレイル予防から疾患との関連について	介護支援専門員	2名	9月18日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
介護支援専門員更新研修	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向、実践の振り返りと指導及び支援の実践について	介護支援専門員	1名	10月16日 から 2月22日	6日間	兵庫県福祉人材センター等	口頭・復命
第3回ケアマネジメント力向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、地域課題の抽出について（事例検討）	介護支援専門員	1名	10月24日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
3事業所合同勉強会	ヤングケアラーと若年性認知症について（事例検討）	介護支援専門員	4名	11月11日	1日間	特別養護老人ホーム なごみの里	口頭・復命
第3回網干ブロック研修	認知症のいろはについて	介護支援専門員	1名	11月13日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
主任介護支援専門員更新研修	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向、実践の振り返りと指導及び支援の実践について	介護支援専門員	1名	12月1日 から 3月14日	9日間	オンライン	口頭・復命
第4回ケアマネジメント力向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、地域課題の抽出について（事例検討）	介護支援専門員	1名	12月18日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
第4回網干ブロック研修	地域活動をケアプランに活用する、自立支援に向けた支援方法について	介護支援専門員	1名	2月25日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命

苦情対応

発生日	苦情内容	苦情対策
令和6年 9月20日	「担当介護支援専門員の対応について」 大津地域包括支援センターに担当介護支援専門員から聞く話が、だんだん異なってきたとの相談がある。担当介護支援専門員を変更してほしいとの申し出がある。	①不愉快な思いをさせたことに対して管理者が陳謝する。 ②希望通り、担当介護支援専門員の変更を行うと理解が得られた。 ③利用者の気持ちに寄り添った電話対応や話を聞く姿勢、内容の要約と意思確認について、接遇面も含め、対応方法の振り返りを行った。

事故なし

※ 職員間の内部研修、避難訓練については、併設の特別養護老人ホームと合同で行い、参加している。